

## 令和5年度第2回 西宮市健康増進計画・食育推進計画推進会議 議事要旨

日 時：令和5年8月25日（金）午後2時～3時40分

場 所：西宮市役所池田庁舎 1階講堂

出席者：内藤委員長、川崎副委員長、岸本委員、北川委員、藏田委員、澤田委員、潮崎委員、白石委員、高尾委員、坪内委員、林委員、山内委員

（事務局）

町田健康福祉局長、福田保健所長、村尾保健所副所長、園田保健所副所長

国民健康保険課 駕海課長 高齢者医療保険課 岡課長 地域共生推進課 山本課長

学校給食課 神田課長 教育研修課 山田課長 学校保健安全課 濱本課長

農政課 上野課長 美化企画課 藪内課長 食肉衛生検査所 梅田所長

食品衛生課 松本課長、藤田係長

地域保健課 中東担当課長、岡崎係長、樋口係長

健康増進課 反田課長、川崎担当課長、向井係長、本田係長、中辻係長

安土管理栄養士、神田歯科衛生士、北原主任保健師、小坂保健師

ジャパンインターナショナル総合研究所（ジャパン総研） 宮川氏

### 1. 開 会

資料の確認。

船橋委員、公務のため欠席。

出席委員12名、欠席委員1名、遅参1名につき会議の成立の確認。

傍聴希望1名希望あったが、当日来所なし。

### 2. 議 題

（1）第3次西宮市健康増進・食育推進計画（仮称）の改定について

事務局より資料1～資料3、参考資料について説明。

①骨子案について

事務局より資料1～資料2について説明。

<ご意見>

委員長：事務局から計画について説明があった。前回いただいたご意見への対応についても1つひとつ対応いただき、見やすくなったと思う。ご意見はないか。

人口の問題が国で示されている。骨子案では令和2年までとなっているが、その後の推移はまだ出ていないということか。

事務局：国勢調査を採用しており、次回の調査が令和7年となっている。そのため、現時点での最新の数値として令和2年を示している。

事務局：国勢調査以外は把握しているのか。

事務局：住民基本台帳では横ばいか減少であり、明確に増えているという状況ではないと記憶している。

委員：これは12年の計画という理解でよろしいのか。人口動態がどうなるかということは予測できる

ため、人口ピラミッドのピーク（50歳・30歳）がスライドしていくことが予想されるため、そこをターゲットに取り組みを検討する必要がある。10年後に60歳になる層には健診、30歳にはメンタルといった具合に内容を盛り込んでいく方が良いと思う。

委員長：食育力という表現にどのような意味を込めているか教えてほしい。

事務局：次世代を担う人々をターゲットに食育を取り組みたいと考えた表現となっている。

委員：言いたいことが伝わってくると思う。誰かから一方的に食育を受けるのではなく、自分の健康を守るという力が必要であり、そのような思いが込められた表現だと思う。

委員長：食育を通じて自らが適切に健康を管理するということかと思う。

次の項目に移りたいと思う。

## ②施策体系・目標指標について

事務局より資料3、参考資料について説明。

### <ご意見>

委員長：健康づくりと食育に分けて意見を伺いたい。

委員：要介護の要因として、認知症、脳卒中、転倒と骨折が高い。骨粗しょう症の検診の受診率が低い。重点的な対策が取れるなら、健康寿命の延伸につながると思う。入院される高齢者の多くが食事をするものの嚥下障害の状態にあり、入院をきっかけに介護が必要な状態になっていくという現状があるため、対策と目標値の検討をお願いしたい。

事務局：骨粗しょう症検診を含めた対策については、前回の推進会議でもご意見頂戴しておりましたので、後程説明しようと考えていた参考資料をご覧ください。

（事務局より参考資料について説明）

委員長：休養・こころの健康について、働く人のストレスチェックだけでなく、孤独やうつに関する指標があればと思う。何かないだろうか。

事務局：自殺対策計画でも同様のご意見をいただいております、どのような指標がよいか検討して入れられるものについて設定を検討したい。

委員長：地域活動に参加する人のようにポジティブな人は把握しやすいが、閉じこもりの人などは把握が難しいと思う。ポジティブ、ポジティブでないという両方向を把握することを検討してほしい。

最初に健康管理が位置づけられている理由を確認したい。

事務局：現計画では健康管理が最後だった。内部で検討した中で、健康管理と健（検）診がすべての分野と関連があり、最初に持ってきている。栄養・食生活が最初だったが、食育推進計画との関係で最後に移動している。

委員：市の人口について、少子高齢化が進みながらも現状維持、少し減るという状況だ。出生・死亡・転入・転出が続いており、今の数字が12年後にスライドするとは思わない。

西宮市は、北部の人が固定化し、南部の人は出入りが激しい。地域が南北で分断されている。各分野を横断する取り組みについて、地域との協働はあるものの、地域間の協働という視点があるのか意見を聴きたい。

事務局：南北の地域差は難しい問題だ。東西は電車につながっており、移動の流れがあるものの、南北の移動は日常では意識されていないと個人的に実感している。北部の中でも旧の集落と新興住宅では考え方が違うと思う。地域の中での食育については、農家の減少という話を聞いて

ており、西宮の農業がいつまで続くのかという問題もあり、市内ですべて消費できているわけではないが、給食で市の産物を消費していたり、なるべく県内で消費しており、それが地域の枠組みを超えた取り組みの1つだと思う。

委員長：地域間の健康格差を縮めていくことが重要だと思うが、地域間の問題への取り組みについては触れていくのだろうか。

事務局：現計画において施策を検討する上で地域差や地域課題を分析しているものの、経済格差に関する内容もあり、計画の中では取り上げていない。課題を抱える地域への重点的な取り組みや無関心層が多い地域、情報が届きにくい地域への働きかけや取り組みの工夫についても検討していきたい。今後素案をつくる過程で、具体的な内容を示すことができればと思う。

委員長：地域間の問題等言いづらいものがあると思うので、表現に気をつけて記載を検討してほしい。表現に関しては、飲酒に関する表現が厳しくなっている。適正ではなく、適量となっているのか。

事務局：もともと適量としている。

委員長：適正な酒量はないという主張を聞くこともある。西宮は酒どころであり、表現に配慮して記載することが重要だと思う。

食育についてはどうか。

事務局：食育は現計画で8つの柱であり、次期計画では3つの分野に整理している。目標指標は分野の中で重点的に取り組む内容について指標を設定しており、ほとんどすべての施策に1つの指標となっている。

委員長：地産地消がうまくいっているかどうか評価する方法はどのように考えているのか。

事務局：目標指標と別に活動指標の検討を考えている。活動指標として、地産地消がうまくいっているということを判断するものを設定したい。

委員長：目標指標が設定されていないと、地産地消がうまくいっているのかどうか判断できないと思う。細かい話かもしれないが、整合性はどうか。

事務局：再度検討したいと思う。

委員：健康寿命の延伸に向けた食育の指標は、主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている人の割合ということか。

事務局：施策の方向性を分けているものの、「適正体重を維持している人の割合」「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている人の割合」「毎日朝食を食べる人の割合」から判断したいと思う。

委員：フレイルについて、3食しっかり食べることが重要だと言われており、そのような視点から指標を設定することも可能かと思う。

委員長：分野横断的な取り組みの評価についてどのように考えているのか。

事務局：分野横断的な取り組みについても活動指標を設定し、事業の成果があったか評価したいと思う。これらの取り組みをベースに、各分野の目標達成を図っている。

委員長：支える人材の育成や社会環境の整備をどのように考え、どのように整備していくかということが重要だと思うため、素案に期待する。

委員：分野横断的な取り組みの人材育成について、私も企業で人材育成に取り組んでおり、難しいと思う。健康マスター検定を職場のリーダーに受けてもらうよう働きかけたりしている。資格にこだわる必要はないが、地域の人々の健康づくりの基礎をつくることのできる仕組みづくりを検討してほしい。それが目標指標につながると良いと思う。

委員長：市民が積極的に健康づくりに関われるようにしていくことが重要であり、自らの健康を主体的に守ることを次期計画で強調してほしい。

③計画名称について

事務局より計画名称について説明。

<ご意見>

委員長：計画名称について、第3次西宮市健康増進・食育推進計画ということで行政らしい名称だと思うが、愛称があった方が良いのかなど、ご意見をうかがいたい。意見がないようであれば、計画の正式名称について異議があるか確認したい。

(異議なしの声)

委員長：異議がないため、正式名称を採用したいと思う。愛称についてはどうか。他の自治体で愛称を付けているようなケースはあるのか。現行計画ではみやちゃんというマスコットキャラクターをつくったり、小中学校から標語を募集したりした。今回も同様の取り組みをするのか。

事務局：各世代に取り組んでほしい内容をまとめたリーフレットを作成し、普及することを考えている。

委員長：本日の協議を通じて、様々なご意見をいただいた。事務局には計画への反映を検討してほしい。

協議をここまでとし、進行を事務局にお返しする。

5. その他・事務連絡

次回推進会議の時期：11月6日（月）14時

6. 閉会、課長あいさつ